

麻生支援学校校長の山崎明久です。校長として3年目を迎えました。麻生養護学校(当時)が開校する平成18年4月から6年間、担任やカリキュラム研究開発部のグループリーダーとして勤務しましたので、麻生支援学校での勤務は合計9年目です。



校長室には、1匹の金魚が棲んでいます。名前は「レイン坊」です。3代目の校長先生がお祭りで買ってきた金魚を連れてきてから、かれこれ10年を超えて棲んでいます。歴代の校長がバトンを受けて、大事に育て、水槽を悠々と泳いでいます。この「レイン坊」、歴代校長の仕事ぶりを見守ってきた役割以外にも児童・生徒と校長とのふれあいの場を設けるということにも一役買ってくれています。



あるB部門中学部生徒が、毎朝着替えを済ませてから校長室の環境整備に来てくれています。ミーティングテーブルの清拭、観葉植物への水やり、不要な文書のシュレッダー、窓を開閉して室内を換気、等々に加えて、「レイン坊」への餌やりもしてくれています。今は、まだおっかなびっくりの様子で「お玉」に餌を入れて少し遠くから水槽に餌をまいています。5月を過ぎたころからは、学校

でのリズムが整ってきた A 部門の児童・生徒が昼休みや下校前の時間に「ちょうど小腹がすいたレイン坊」に餌をあげに来てくれます。車いすからがんばって腕を伸ばしてくれます。毎日、誰かが必ず会いに来てくれる「レイン坊」です。